

# アルミニウム合金製作業台用手すりセット CSD-K型

## 組立説明書

このたびはCSD-K型作業台用手すりセットをお買い上げいただきましてありがとうございます。この手すりセットを安全に使っていただくために、注意事項をよくお読みいただき手順に従って組み立ててください。

※組立て前に、部品数量を確認してください。 **必要工具** ●M6スパナ ●十字ドライバー

**危険** CSD型作業台にはそれぞれ、CSD-F型 CSD-K型 CSD-LS型 3シリーズがあり、手すりの取り付け方法もそれぞれ異なりますので、本体に貼り付けてある本体表示ラベルで機種名を確認の上、該当する組立説明書に基づいて組み立ててください。

**危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

●設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 組み立てる時はボルトを確実に固定してください。
- 使用前にはボルトのゆるみや抜け落ちを確認し、ある場合は締め直してください。
- 使用前に必ず点検し、異常のない事を確認してください。
- 手すりから身体を乗り出さないでください。
- 手すりへ寄りかかったり、足をのせたりしないでください。
- 手すりを押ししたり、引いたりしないでください。
- 適応機種以外に取り付けて使用しないでください。
- 加工・改造をしないでください。
- 本体付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
- 天板高さが2m以上の作業台には、必ず手すりを付けて使用してください。

**注意** 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 使用に適した服装で使用してください。
- 雨や直射日光があたらない場所に保管してください。

## アルインコ株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1 お客様相談室 ☎0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※この組立説明書の無断転用を禁じます。  
 ※万一不慮、落丁がございましたら、お取り替えいたします。  
 ※住宅機器事業部の製品は日本での販売を目的として開発・製造・販売（仕入れ品含む）しております。  
 他国に輸出される場合は弊社までご相談ください。

2021041-UN

## ■ 部品表

部品名	側面手すり(L)	側面手すり(R)	背面手すり	上部昇降手すり(L)	上部昇降手すり(R)
品番	CSDYTLH	CSDYTRH	CSDHT	CSDKT1L	CSDKT1R
部品図					
適応機種					
フル手すり	90・120 150 180	1	1	1	1
正面付片手すり(L)	90・120 150 180	1	—	1	—
正面付片手すり(R)	90・120 150 180	—	1	—	1
三方手すり	—	1	1	—	—
片手すり(L)	90・120 150 180	1	—	1	—
片手すり(R)	90・120 150 180	—	1	—	1
片側開口手すり(L)	90・120 150 180	—	1	1	1
片側開口手すり(R)	90・120 150 180	1	—	1	1

部品名	下部昇降手すり(小)	下部昇降手すり(大)	手すり柱	背面幅木	手がかり棒
品番	CSDKT2S	CSDKT2L	CSDST	CSDHB	CSDTG
部品図					
適応機種					
フル手すり	90・120 150 180	— — 2	—	1	—
正面付片手すり(L)	90・120 150 180	— — 1	1	1	—
正面付片手すり(R)	90・120 150 180	— — 1	1	1	—
三方手すり	—	—	—	1	—
片手すり(L)	90・120 150 180	— — 1	—	—	—
片手すり(R)	90・120 150 180	— — 1	—	—	—
片側開口手すり(L)	90・120 150 180	— — 2	1	1	(1)
片側開口手すり(R)	90・120 150 180	— — 2	1	1	(1)

※手がかり棒は90、120、150、180サイズの本体に標準装備です。【片側開口手すりセット】の時に使用します。

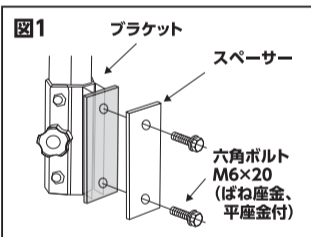
## 作業台本体取付けの準備について

### ① ボルトの取外しについて(ブラケット付きの部品について 図1)

側面手すり(L) 側面手すり(R) 上部昇降手すり(L) 上部昇降手すり(R)  
 下部昇降手すり(小) 下部昇降手すり(大) 手すり柱

ブラケットには工場出荷時に六角ボルトM6×20(ばね座金平座金付)が取り付けられています。ブラケットから、六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)を取り外してください。作業台本体への取付けにはこのボルトを使用します。また、スペーサーが付属しておりますが、同じく本体取付けに使用しますのでご注意ください。

**注意** 片側開口手すりセットの時は、手がかり棒に取り付ける側の、上部昇降手すり、下部昇降手すりのスペーサーは取り外して使用してください。

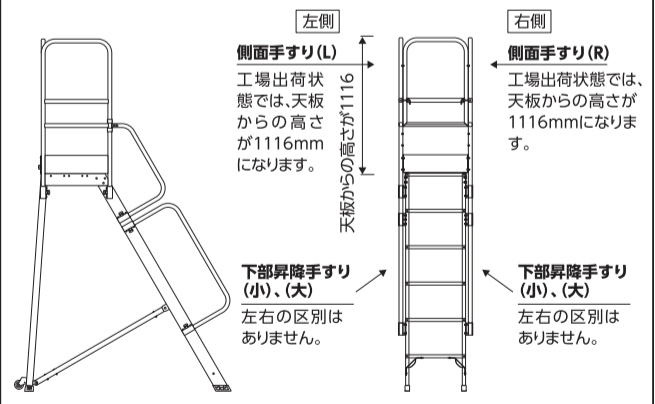


### ② 右側取付け時のブラケットの組替えについて(図2、3)

#### 手すり柱

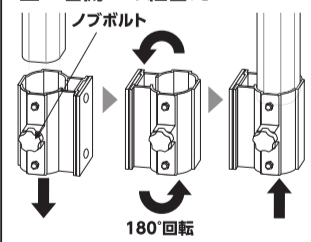
手すり柱は工場出荷時には作業台の左側につくように設定されています。(作業台の左側、右側の識別については図2を参照してください。)右側に取り付ける場合には、ノブボルトをまわってブラケットを取り外し、右側に取り付けられるようブラケットを組み替えてください。(図3)

#### 図2 作業台の左側、右側について



加えて天板からの高さも916mmに変える場合は次の●の項目もあわせてお読みください。なお側面手すり(L)、上部昇降手すり(L)は左側取付け専用部材、同じく側面手すり(R)、上部昇降手すり(R)は右側取付け専用部材となり、ブラケットの組替えは行いませんのでご注意ください。

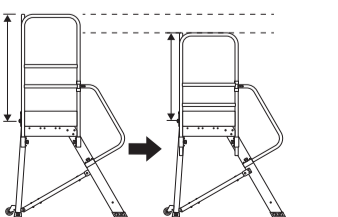
#### 図3 右側への組替え



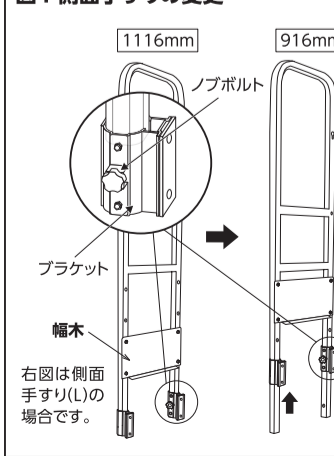
### ③ 側面手すり(L)、(R)、および手すり柱の天板からの高さを、1116mmから916mmにするときについて

側面手すり(L) 側面手すり(R)  
 手すり柱

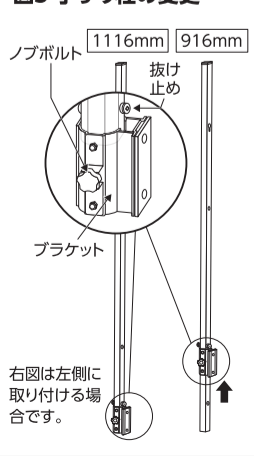
側面手すり(L)、(R)、手すり柱は作業台の天板からの高さ1116mm、916mmと、どちらかをお選びいただけますが、出荷時には1116mmになるようブラケットが取り付けられています。916mmにする場合はブラケットと幅木を、手すり柱はブラケットと抜け止め2箇所を取り外し、右図のように上に移動させて取り付けてください。(図4、5)ブラケットはノブボルトをまわすと外れます。抜け止めの取外しには十字ドライバーを使用してください。



#### 図4 側面手すりの変更



#### 図5 手すり柱の変更

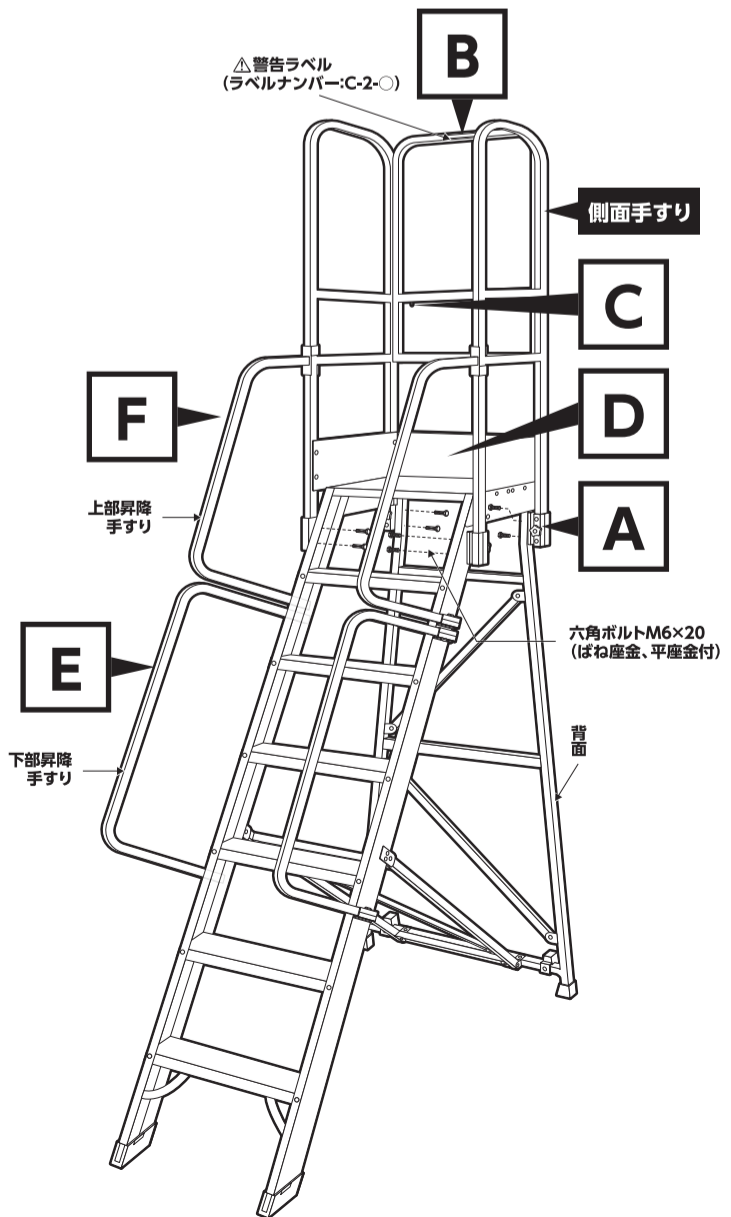


※手がかり棒は【片側開口手すりセット】の時以外は使用しません。取り外しておいてください。

## フル手すりセット

※組立てのポイント 作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

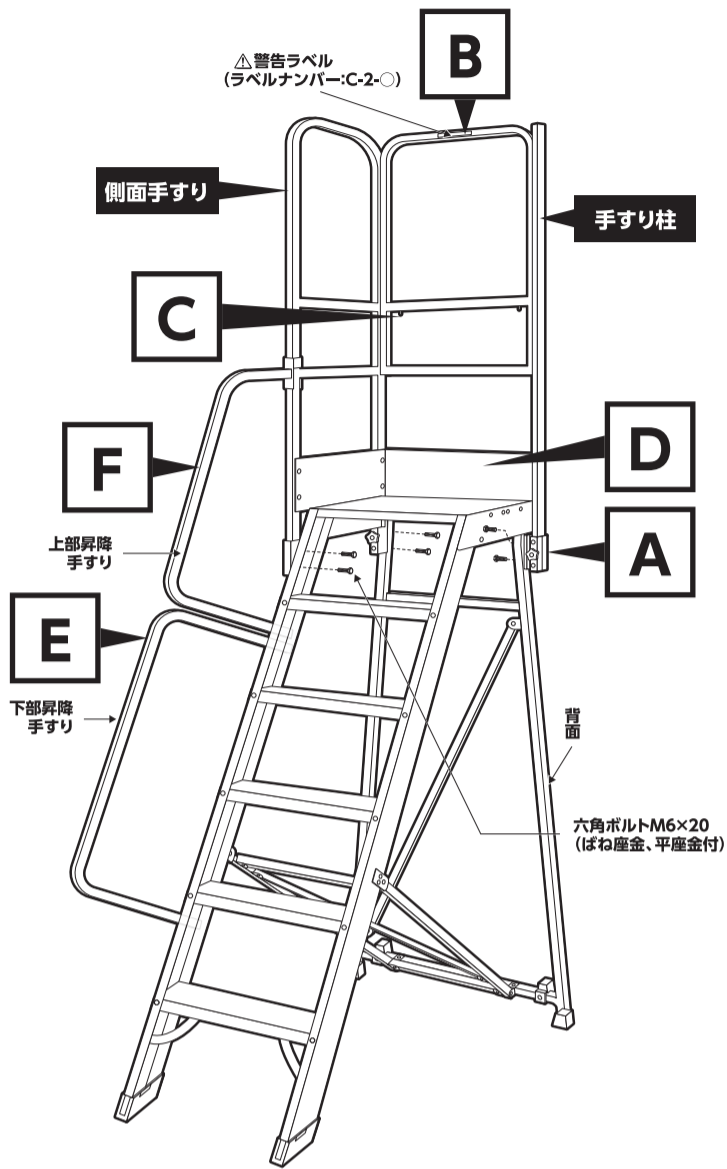
- ① 最初に、側面手すりを下図のように取り付けてください。  
 ※各セット取り付けには、側面手すり・手すり柱を先に取り付けてください。取付は「作業台本体取付けの準備について」を参照してください。
- ② 下図のアルファベットを本紙裏面の図を参照し、取り付けてください。



## 正面付き片手すりセット

※組立てのポイント 作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

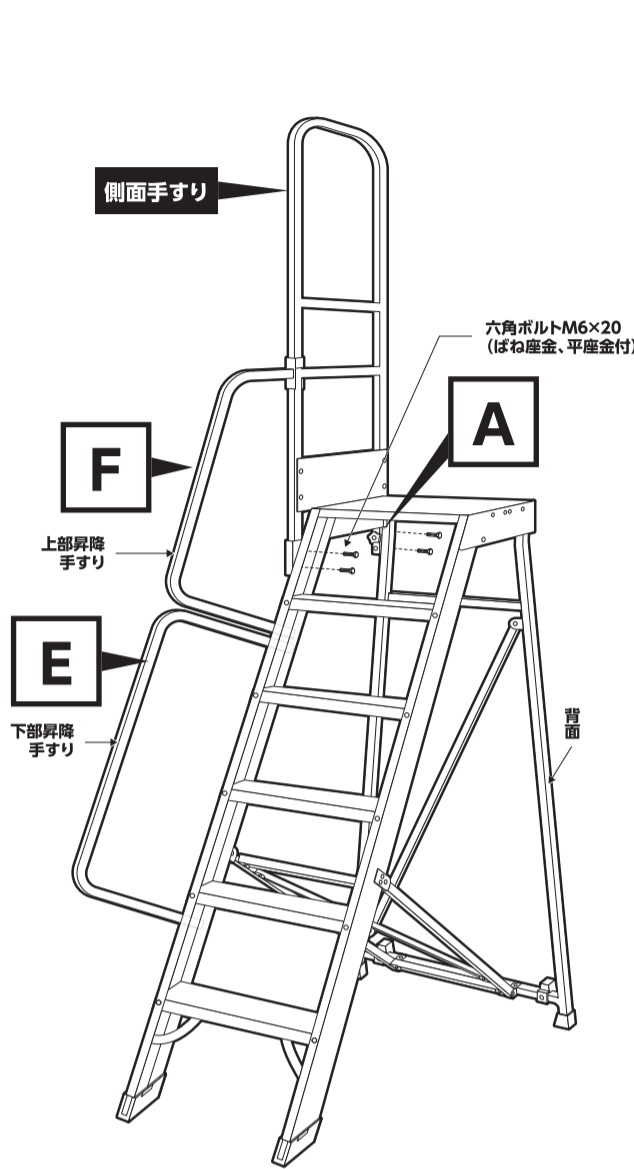
- ① 始めに、側面手すり、手すり柱を下図のように取り付けてください。  
※各セット取り付けには、側面手すり・手すり柱を先に取り付けてください。  
取付は「作業台本体取付けの準備について」を参照してください。
- ② 下図のアルファベットを本紙右下の図を参照し、取り付けてください。



## 片手すりセット

※組立てのポイント 作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

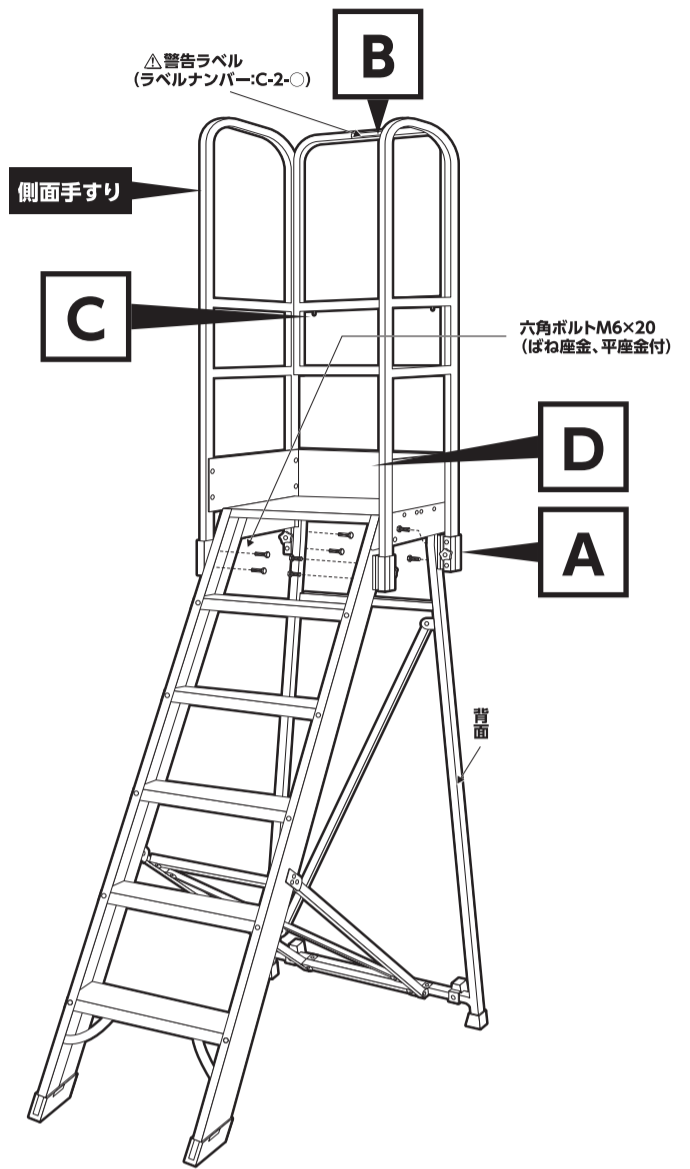
- ① 始めに、側面手すりを下図のように取り付けてください。  
※各セット取り付けには、側面手すり・手すり柱を先に取り付けてください。  
取付は「作業台本体取付けの準備について」を参照してください。
- ② 下図のアルファベットを本紙右下の図を参照し、取り付けてください。



## 三方手すりセット

※組立てのポイント 作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

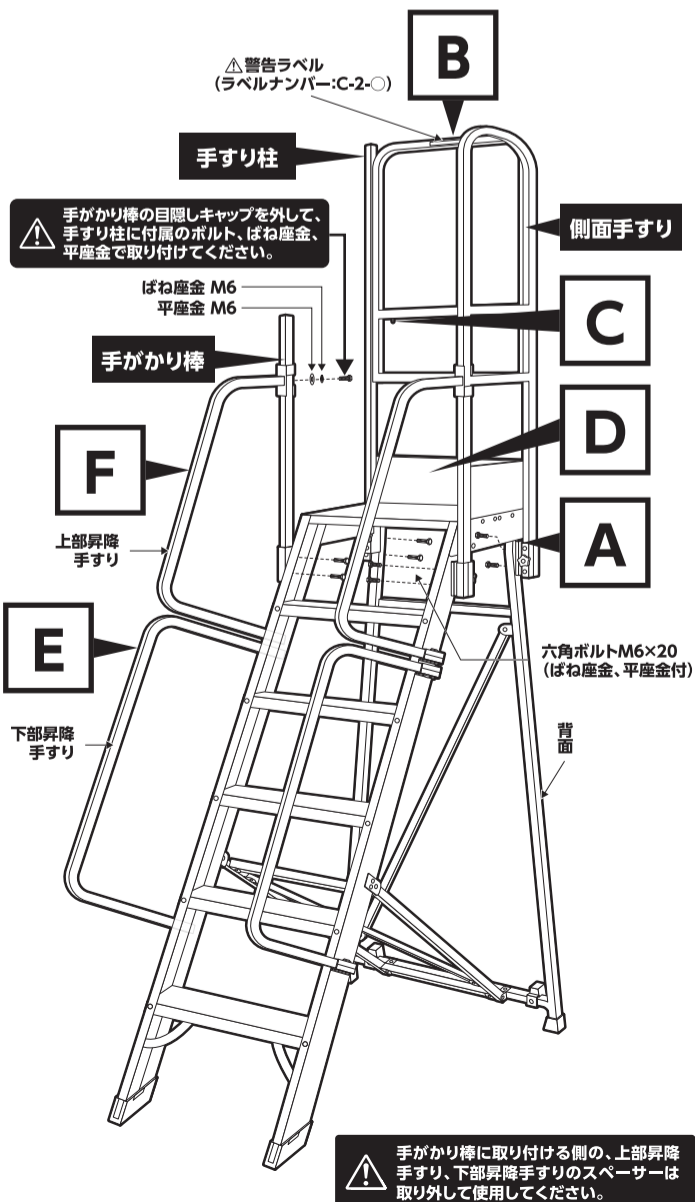
- ① 始めに、側面手すりを下図のように取り付けてください。  
※各セット取り付けには、側面手すり・手すり柱を先に取り付けてください。  
取付は「作業台本体取付けの準備について」を参照してください。
- ② 下図のアルファベットを本紙右下の図を参照し、取り付けてください。



## 片側開口手すりセット

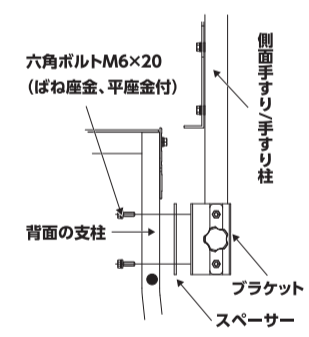
※組立てのポイント 作業台本体に手すりを一旦仮組みしてから本締めを行ってください。

- ① 始めに、側面手すり、手すり柱、手がかり棒を下図のように取り付けてください。  
※各セット取り付けには、側面手すり・手すり柱を先に取り付けてください。  
取付は「作業台本体取付けの準備について」を参照してください。
- ② 下図のアルファベットを本紙右下の図を参照し、取り付けてください。



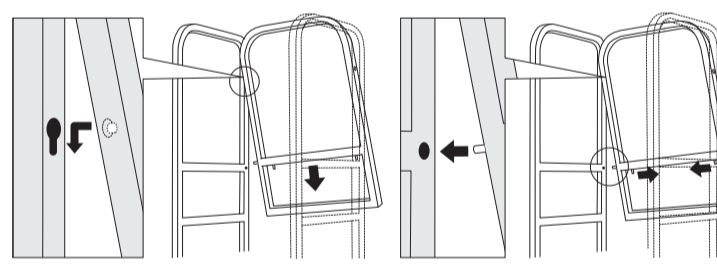
### A 側面手すり/手すり柱の取り付け

▲ スペースの入れ忘れに注意してください。



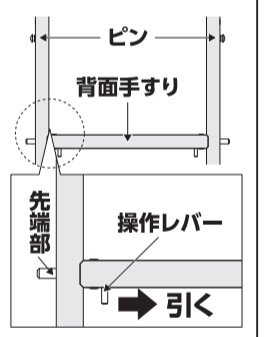
### B 背面手すりの取付け

- ① 側面手すりのかぎ穴に、背面手すりのピンのまず一方を挿入し、もう一方は挿入する側面手すりを、手で少し外側に押し広げながら、挿入します。両方挿入後、かぎ穴の下側にピンがくるように背面手すりを引き下げます。
- ② この位置で背面手すりの二つの操作レバーを同時に内側に引きながら、ピンを軸として回転させ、操作レバー先端部が側面手すりの穴に挿入できれば完成となります。



### C 背面手すりについて

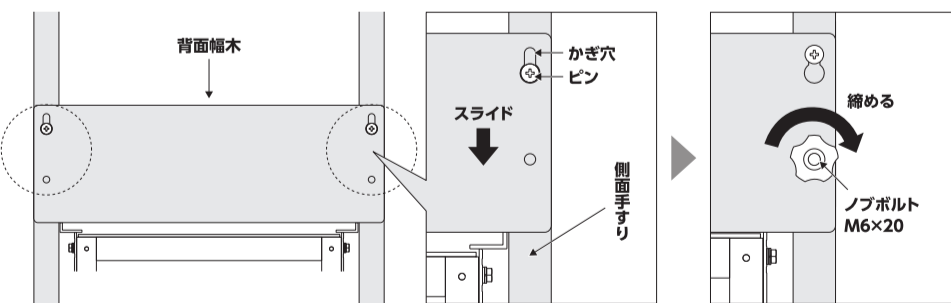
操作レバーを内側に引くと先端部が引っ込む。



### D 背面幅木の取付方法

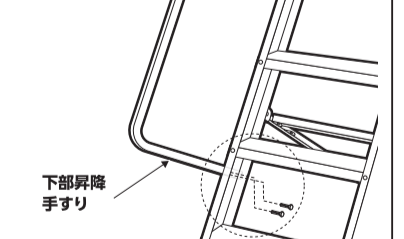
- ① 背面幅木のかぎ穴を側面手すり背面のピンに挿入し、下にスライドさせます。(2か所)
- ② 側面手すり背面幅木をノボルトでしっかり固定して完成です。(2か所)

※背面から見た図



### E 下部昇降手すりの固定

図のようにボルトで固定してください。その際、上部昇降手すり用の穴と間違えないよう注意してください。

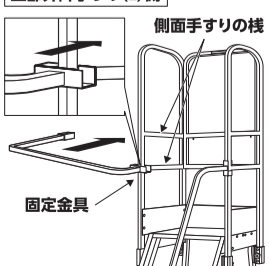


### F 上部昇降手すりの取付け

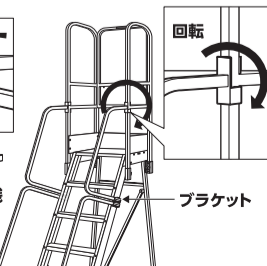
▲ 片側開口手すりセットの際は、手がかり棒に取り付ける側の、上部昇降手すり、下部昇降手すりのスペースは取り外して使用してください。

- ① 下図を参考に上部昇降手すりの固定金具を側面手すりの棧と水平になるように、挿入します。その際、側面手すりの高さ1116mm(工場出荷状態)の場合は下の棧、916mmの場合は上の棧に取り付けてください。
- ② 上部昇降手すりを本体側に回転させ、ブラケットをボルトで固定します。

上部昇降手すり(L側)

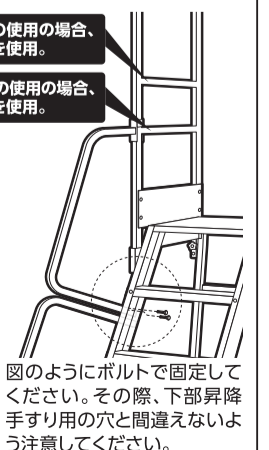


上部昇降手すり(R側)



高さ916mmの使用の場合、上部手すり棧を使用。

高さ1116mmの使用の場合、下部手すり棧を使用。



図のようにボルトで固定してください。その際、下部昇降手すり用の穴と間違えないよう注意してください。